

| 議案番号 | 案件・結果 (賛成=○ 反対=×) | 議員名(議席順) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------------------------|----------|------|------|-----|------|------|-----|------|-------|------|-----|-----|------|------|------|---|---|---|
| | | 川口純男 | 二俣秀明 | 鈴木克己 | 丸尾忠 | 齋藤佳子 | 名波和寛 | 櫻井勝 | 渥美昌裕 | 河原崎恵士 | 植田浩之 | 阿形昭 | 齋藤洋 | 大澤博克 | 増田雅伸 | 阿南澄男 | | | |
| 議案第30号 | 令和4年度御前崎市佐倉財産区特別会計予算について | 可決 | 欠席 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ※ | ○ |

※議長は採決には加われません。



令和4年3月7日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

【議案第6号(1)(2)(3)】

問 訓練出勤報酬の4時間以内1千円は、金額が低過ぎるのではないかと

答 国の基準により、災害で1日出た場合、8千円になります。災害以外の出勤である訓練や警戒などは、各市様々ですので、出勤の勤務の強度、活動時間、地域の実情に応じた額にしております。

【議案第12号について】

問 市有地を返還する際の建物解体費用は、長く使っていた市もある程度負担すべきではないかと

答 建物を譲渡することにより、所有権が移りますので、土地の返還時には所有者に更地にしていただくと考えています。

一般質問

8名が登壇 市政を問う

*この一般質問は3月3日と4日に行われたものです。

一般質問

・若い世代の流入促進について



阿南澄男

問 御前崎市の外国人を除く人口は、平成16年合併時の3万5千人が、令和3年では3万人と約15%減少しています。また、20歳から40歳の若年層の女性人口は、平成23年の4千人が、令和2年では2千6百人と、この10年間で約30%減少しており、必然的に出生数も平成23年の313人が、令和2年では178人と、こちらも10年間で約40%と大きく減少しています。

となるよう体制を整備していく計画でございます。

答 政府はこども政策の縦割りを廃止し、司令塔となる「こども家庭庁」を来年の4月をめどに創設するとした基本方針を閣議決定しました。本市においても組織の見直しを含め、子どもが健やかに育つ環境整備や支援を行い、若い世代の流入促進に取り組むべきではないでしょうか。市長の考えは

子ども関連の組織編成につきましては、本年度から事務担当レベルで検討を始めておりますが、こども家庭庁の創設に合わせ、本市にとってよりよい組織

